

公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団

2016 年度在宅医療助成（後期）指定公募

「地域包括ケアを目的とした在宅医療推進のための多職種研修会への助成」完了報告書

テーマ

「台東区統合ケアマネジメント事例検討のための研修会」

日本薬科大学 教授 久保田洋子

1. はじめに

2016 年より「台東区統合ケアマネジメント事例検討会」を開始した。地域包括ケアシステム構築のための分散化と協働化を鑑み、参加者はケアマネジャー・医師・訪問看護師・司法書士・理学療法士・作業療法士・訪問看護師・マッサージ師・臨床心理士・医療ソーシャルワーカー・薬剤師と幅広い専門職種が参集し、これにより「顔の見える」連携の場を目指した。さらに、参加者の増加に伴い、上記職種による事例検討参加者のみならず、オブザーバー制度も導入し、医療専門職種の見学参加者に加え、薬学生などの地域基盤型医学教育（Community-based Medical Education:CBME）に繋がる教育の場とも連携してきた。

「治す医療から支える医療へ」を合言葉に、地域包括ケアシステムを迅速に、円滑に推進するために、出来るだけ多くの専門職種が「顔を合わせる」連携を基盤としている。

また台東区の人口構造は、高齢化率 23.8%（全国平均 26.0%）であるが、小児在宅医療も含め、さらに地域で在宅医療を必要とするニーズは加速化していく傾向にある。さらに地域の人々の疾病構造は複雑化し、医療の IT 化・機械化・高度化に伴い、地域包括ケアシステムを支える「自助・互助・共助・公助」を繋げるための多職種連携システムの構築を目指している。

2. 事例検討会から研修会へ

この地域活動は各専門職の職能を発揮するだけでなく、「繋げる：協働する」ことにより、在宅医療が推進し、適切なケアが実施され、健康寿命の延伸と自立した生活の安定を目指すことができる。そこで統合ケアマネジメント事例検討会を実施してきた。

今回、統合ケアマネジメント検討会の継続と並行して、研修会を実施する新しいスキームを構築する。この研修会により、高度化・複雑化する社会や医療への対応を解決するために各専門職種の最新情報を学び、「顔の見える連携の輪」を主軸とした地域包括ケアの深化・醸成ができる。

現在の幾多の社会の問題は、当然台東区の問題でもある。しかしながら、一般論だけで解決できる内容は少なく、独自の問題点を個々に case by case で改善していかなければならないため、膨大なマンパワーを費やしている。そこで、情報の共通化による均一な多職種連携を構築することにより、経験値や経験年数による各専門職の負担は軽減され、円滑な問題解決へ繋げることができる。そのための情報共有ツールとして「いきいき 暮らすために（在宅医療用パンフレット）」を作成した。情報共有冊子を地域住民および専門職種

に利用できるようにしていく。このようなスキームを継続させ、改善していくために参加者に対してアンケート調査を行い、その分析・評価をフィードバック・公表して PDCA (Plan→Do→Check→Action) サイクルも回すために、アンケート調査データは学会発表予定である。

地域全体での「自助・互助・共助・公助」の円滑化が図れることにより、あらゆる年齢層への在宅医療の推進による地域包括ケアの醸成を今後も目指す。

【研修会（全4回）】

第1回 平成29年 6月13日（火）

題名：他職種連携と地域のか

講師：訪問看護ステーションコスモス 渡邊怜子

配布資料：DVD 参照

第2回 平成29年7月18日（火）

題名：地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション職の役割

講師 東京リハビリテーション病院 齋藤正洋

配布資料：DVD 参照

第3回 平成29年9月15日（金）

題名：成年後見制度と地域包括ケアシステム

講師：フォルテ司法書士事務所 吉弘裕輔

配布資料：成年後見物語（公益社団法人 成年後見センター・リーガルサポート）

第4回 平成29年11月14日（火）

題名：在宅医療に求められるアサーティブ・コミュニケーション

講師：臨床心理士 羽田野 健

配布資料：DVD 参照

【開催場所】

浅草薬剤師会 会議室（台東区蔵前4-34-9）

【対象者】

対象者：ケアマネジャー・医師・歯科医師・訪問看護師・司法書士・理学療法士・作業療法士・訪問看護師・マッサージ師・臨床心理士・医療ソーシャルワーカー・薬剤師

周知先：台東区内医療施設、介護施設、薬局、区役所など

【研修方法】

① 講演

② グループディスカッション

3. 研修会後アンケート調査

目的：平成 29 年に実施した全 4 回の参加者に、研修会後の多職種連携に関する意識や行動の変化を明らかにするためにアンケート調査を実施した。

研究デザイン：郵送法による自記式アンケート調査

アンケート回答に対する同意取得：アンケートの目的について文書で説明し、アンケート用紙中「本研究への協力を口承諾する」にチェックのあるものを研究参加への同意とした。

研究倫理および利益相反：日本薬科大学 研究倫理審査委員会 承認済み
千葉大学薬学研究院 倫理委員会 承認済み。
利益相反はありません。

結果：

- (1) アンケートの回収率は 40.6%
- (2) 参加者の職種は薬剤師 36%、看護師・ケアマネジャー・理学療法士・作業療法士が 10-20%、医師・歯科医師の参加もあった。
- (3) 日常業務でこれまでに他職種と協働したこれまでに協働したことのある職種は、医師、ケアマネジャー、看護師の順に多く、今後協働したい職種は、薬剤師、行政関係者、医師、ケアマネジャーの順に多かった。
- (4) これから協働したい職種とその協働内容は、薬剤師、医師、ケアマネジャーとの協働内容は多くの参加者で重複しているが、行政との協働内容は多岐に渡っている。
- (5) 研修会前後の多職種連携の行動変容は、研修会後は、他職種に相談しない者や他職種に仕事を依頼しない者の割合が減少した。
- (6) 研修会後の多職種への理解は、各回のテーマとなった専門職への理解が深まった。
- (7) 他職種へのイメージと自職種への理解度は、研修会後は、他職種のイメージが変化した者が約半数いた。他職種から自職種は理解されていると思っている者と理解されていないと思っている者が同程度だった。理解されている職種は薬剤師 (5)、看護師 (5)、ケアマネジャー (3)、医師 (1)、歯科医師 (1) などであり、理解されていない職種は薬剤師 (5)、ケアマネジャー (3)、作業療法士 (3)、理学療法士 (2) であった。
- (8) 今後薬局薬剤師と協働したい業務については、残薬管理、処方提案、服薬管理などが多かった。
- (9) 研修会後の感想は、
 - ❖薬剤師とディスカッションできたのは良かった。
：理学療法士、作業療法士、医師、看護師、ケアマネジャー
 - ❖顔見知りの関係を作れたことは良かった。
：看護師

❖他の職種が近くに感じられるようになった。

：作業療法士

❖各専門家の視点を知ること、何を誰にどのように伝え、相談していくことが良いのか、学ぶことができた。

：医師

❖もっと医師の参加が多ければよかったのに、と思った。

：医師

❖他職種との連携も大切ですが、患者様ご本人や、ご家族との連携も大切であると感じた。

：薬剤師

考察：

今回の研修会の結果、「顔の見える連携」につながると評価した参加者が60%だった。本研修会が他職種との合同研修会であったことが、他職種の知り合いを作り理解を深めることができたことが評価された。薬剤師は、在宅で必要とされているにもかかわらず、他職種からは「見えない」存在であることが改めて明らかとなった。

3. まとめ

平成29年度4回の新しいかたちの研修会を開催できた。研修方式を前半60分、講師による講演、その後講師から例示された症例を用いて、グループディスカッションを行った。

このような他職種合同の研修会を繰り返すことにより、地域での知り合いが増え、「顔の見える連携」を進展させることが明示された。今回導入した例示症例によるグループディスカッションは、今後地域における実症例での対応を円滑に行い、これまで「だれに、どのように相談して良いかわからなかった」ことが、明確化されたと判断する。

これらの結果や、研修方法は、30年度学会および卒業論文や論文にて、公表し、社会に還元いたします。

今回、公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団2016年度在宅医療助成(後期)指定公募「地域包括ケアを目的とした在宅医療推進のための多職種研修会への助成」により、新しい地域の力をまとめることが出来たことに深謝いたします。

今後も、地域包括ケアシステムの醸成と、地域連携の円滑化のために、尽力していきたいと存じます。ご協力いただきました諸氏に深く御礼申し上げます。

ご助成ありがとうございました。

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 2016年度在宅医療助成

在宅医療連携研修会は、医師・看護師・薬剤師・作業療法士・マッサージ師・臨床心理士、司法書士など様々な職種の方々と、在宅医療に関わるさまざまな職種の業務の理解、『顔の見える連携・協働』を目指します。29年度5回の開催予定しております。

- 第1回 6月13日(火) 訪問看護師 渡部怜子
- 第2回 7月18日(火) 作業療法士 斎藤正洋
- 第3回 9月
- 第4回 11月
- 第5回 平成30年2月

29年度在宅医療連携研修会

第1回 多職種連携と地域の力

これからのことを一緒に考えませんか？「目に見えない」地域の力が見えるようなネットワークや信頼関係が築けると良いですね。是非ご参加ください。

講師 渡辺伶子看護師
訪問看護ステーションコスモス 訪問看護師
東海大学東京病院
NGO東ティモール医療友の会現地駐在員



日時 平成29年6月13日(火) 午後7時30分～午後9時
会場 浅草薬剤師会 事務所(台東区蔵前4-34-9 伊藤ビル2F)
参加費 無料

☆日本薬剤師研修センター認定の集合研修会1単位です。

主催 浅草在宅医療連携研修会 チームウェル 主任介護支援専門員 遠藤恵子
ウェルビーイング21 主任介護支援専門員 山田理恵子
日本薬科大学 教授 久保田洋子
浅草薬剤師会 研修担当 坂口眞弓

☆ご参加される方は平成29年6月5日までに、裏面「参加申込書」にて、FAXでお申し込みください。

浅草薬剤師会(FAX 03-5821-3288 asayaku@tulip.ocn.ne.jp)

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 2016年度在宅医療助成

在宅医療に関わるさまざまな職種の方の業務の理解、『顔の見える連携・協働』を目指します。

29年度5回の開催予定しております。

第1回	6月13日	訪問看護師	渡辺怜子
第2回	7月18日	作業療法士	齋藤正洋
第3回	9月15日	司法書士	吉弘裕輔
第4回	11月14日	臨床心理士	羽田野健
第5回	平成30年2月13日	主任介護支援専門員	山田理恵子、遠藤恵子

29年度 在宅医療連携研修

第2回 地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション職の役割

これからのことを一緒に考えませんか？「目に見えない」地域の力が、見えるようなネットワークや信頼関係が築けると良いですね。是非ご参加ください。

講師 作業療法士 齋藤 正洋
東京都リハビリテーション病院 医療福祉連携室
リハビリテーション科

東京都リハビリテーション病院 作業療法科
同 地域リハビリテーション科

日時 平成29年7月18日(火) 午後7時30分～午後9時

会場 浅草薬剤師会 事務所(台東区蔵前4-34-9 伊藤ビル2F)

参加費 無料



☆日本薬剤師研修センター認定の集合研修会1単位です。

主催	浅草在宅医療連携研修会	チームウェル 主任介護支援専門員	遠藤恵子
		ウェルビーイング21 主任介護支援専門員	山田理恵子
	日本薬科大学	教授	久保田洋子
	浅草薬剤師会	研修担当	坂口眞弓

☆ご参加される方は平成29年6月5日までに、裏面「参加申込書」にて、FAXでお申し込みください。

浅草薬剤師会(FAX 03-5821-3288 asayaku@tulip.ocn.ne.jp)

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 2016年度在宅医療助成

在宅医療に関わるさまざまな職種の方の業務の理解、『顔の見える連携・協働』を目指します。
29年度5回の開催予定しております。

第1回	6月13日	訪問看護師	渡辺怜子
第2回	7月18日	作業療法士	齋藤 正洋
第3回	9月15日	司法書士	吉弘裕輔
第4回	11月14日	臨床心理士	羽田野健
第5回	平成30年2月13日	主任介護支援専門員	山田理恵子、遠藤恵子

第3回 在宅医療連携研修会 「成年後見制度と地域包括ケアシステム」

講師 吉弘裕輔 司法書士 精神保健福祉士
フォルテ司法書士事務所

平成15年司法書士登録

大手事務所勤務を経て平成24年に独立、台東区役所隣に事務所を構える

成年後見に関する業務を中心としている

日時 平成29年9月15日(金) 午後7時30分～午後9時
会場 浅草薬剤師会 事務所(台東区蔵前4-34-9 伊東ビル2F)
参加費 無料



☆日本薬剤師研修センター認定の集合研修会1単位です。

主催 日本薬科大学
浅草薬剤師会
浅草在宅医療連携研修会

教授 久保田洋子
研修担当 坂口真弓
チームウェル 主任介護支援専門員 遠藤恵子
ウェルビーイング21 主任介護支援専門員 山田理恵子

☆ご参加される方は平成29年9月7日までに、裏面「参加申込書」にて、FAXでお申し込みください。

浅草薬剤師会(FAX 03-5821-3288 asayaku@tulip.ocn.ne.jp)

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 2016年度在宅医療助成

在宅医療連携研修会を通し、在宅医療に関わるさまざまな職種の方の業務の理解、『顔の見える連携・協働』のヒントが得られましたら幸いです。
29年度5回の開催予定しております。

第1回	6月13日	訪問看護師	渡辺怜子
第2回	7月18日	作業療法士	齋藤 正洋
第3回	9月15日	司法書士	吉弘裕輔
第4回	11月14日	臨床心理士	羽田野健
第5回	平成30年2月13日	主任介護支援専門員	山田理恵子、遠藤恵子

第4回 在宅医療連携研修会 「在宅医療に求められるアサーティブ・コミュニケーション」

講師 羽田野健 臨床心理士

NPO法人ロッコ 理事長

日時 平成29年11月14日(火) 午後7時30分～午後9時

会場 浅草薬剤師会 事務所(台東区蔵前4-34-9 伊東ビル2F)

参加費 無料



☆日本薬剤師研修センター認定の集合研修会1単位です。

主催 浅草在宅医療連携研修会

日本薬科大学
浅草薬剤師会

チームウェル 主任介護支援専門員 遠藤恵子

ウェルビーイング21 主任介護支援専門員 山田理恵子

教授 久保田洋子

研修担当 坂口眞弓

☆ご参加される方は平成29年11月6日までに、裏面「参加申込書」にて、FAXでお申し込みください。

浅草薬剤師会 (FAX 03-5821-3288 asayaku@tulip.ocn.ne.jp)